



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会 NEWS

「第 4 号」
平成20年9月16日
発行:検討委員会事務局



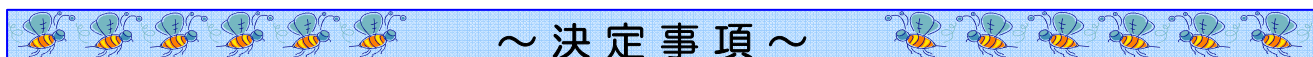
「第4回」検討委員会 開催

- ★日時:平成20年8月26日(火)19時から
- ★場所:下瀬谷小学校「コミュニティスクール」



【次 第】

- 1 開会
- 2 第3回検討委員会の内容説明
- 3 議題
 - (1)統合校の設置場所について
 - (2)通学区域・通学安全について



～ 決 定 事 項 ～

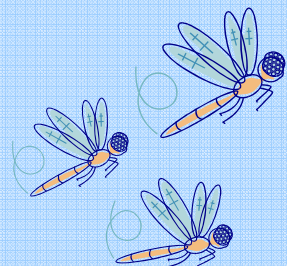
◆統合校の設置場所について

馬場副委員長より統合校の「設置場所に関する正副委員長(案)」の説明があり、委員の皆様にご相談の結果、検討委員会として「下瀬谷小学校」を設置場所とすることに決定しました。

※ 前回(第3回)の検討委員会において、統合校の設置場所について決断しづらいので、できれば「事務局(案)」を出してほしい等の要望がありました。それらを踏まえ、正副委員長会議を開催し、両校をそれぞれ比較した「通学距離・時間」「施設面」「学校周辺の環境面」等について協議した結果、「設置場所に関する正副委員長(案)」を第4回検討委員会で提出することとしました。

◆統合校の通学区域について

現在の両校の学区域を合わせた通学区域とすることになりました。



◆次回(第5回検討委員会)の日程

平成20年10月1日(水)19時から日向山小学校「市民図書室」

●議題

- 1 「通学安全」について、
- 2 「新校名」について、
- 3 「中学校の通学区域」について



議題(1)統合校の設置場所

「統合校の設置場所」に関する正副委員長(案)

「下瀬谷小学校・日向山小学校」の統合校の設置場所は、「下瀬谷小学校」が適当である。

【主な理由(4点)】

- 1 仮に「日向山小学校」を設置校とした場合に、「下瀬谷小学校」の通学区域の北側や東側の児童が、「日向山小学校」へ通学するよりも近いため、「瀬谷第二小学校」あるいは「南瀬谷小学校」への就学を希望する可能性が高くなる。その結果として、統合校の児童数が減ってしまう可能性がある。
- 2 「下瀬谷小学校」を設置校とした場合は、通学区域の中学校(下瀬谷中学校、南瀬谷中学校)がより近くにあり、中学校との連携が取りやすくなる。

3 両校とも、施設規模としては児童を受け入れることができるが、「下瀬谷小学校」は保有教室数が「日向山小学校」より若干多いため、少人数指導や多目的に使用するスペースとしての余裕がある。

4 両校の学校の通学区を合わせた場合、「下瀬谷小学校」は概ね中央に近いので、これから長い将来を見据えると、通学区内の学校の位置が、より理想的になる。

【馬場副委員長より】

日向山地区を代表して、保護者及び地域の思いを代弁させていただきます。日向山小学区の住民のほとんどが30年前に他の地域から引越して参りました。日向山小学校は昭和55年に開校し、今年開校28年になります。地域が日向山小学校に愛着があることは事実であり、統合されることは寂しい限り、断腸の思いでございますが、発展的再編統合のため、新しい学校創りに夢を託したいと思っております。

『正副委員長(案)に関するご意見・ご質問』

【質問】

設置場所が下瀬谷小学校となることは仕方ないと思っております。但し、選定理由の1番については、仮に下瀬谷小学校を設置場所とした場合にも、日向山小学区から飯田北小学校へ就学希望が高くなる等同じことが言えると思っております。

日向山小学校を設置校とした場合に、下瀬谷小学校の児童が「瀬谷第二小」や「南瀬谷小」に就学を希望する割合がどの程度増えるの見込んでいるのか伺いたい。

<回答(事務局)>

日向山小学校を設置場所にした場合の「瀬谷第二小」と「南瀬谷小」の就学者増の見込み数については、アンケート調査等は実施しておりませんので、正確な数字はお答えできません。ただ、現在瀬谷第二小学校との特調区域からは16人が下瀬谷小学校を選択しています。また、南瀬谷小学校との特調区域からは2人が下瀬谷小学校を選択しています。仮に当該特調区域の児童が下瀬谷小学校以外を選択すると仮定すると、18人が減ってしまいます。また、特調区域以外にも「瀬谷第二小」や「南瀬谷小」に近い地区では、これらの学校への就学希望が高くなる可能性もあります。

一方、日向山小学区から見て、隣接する飯田北小学校といずみ野小学校は距離がそれほど近くありません。また、飯田北小学校については現在8学級の小規模校で将来的に統合の可能性もあります。日向山小学区から飯田北小学校に転校された場合には、お子さんが2度の統合を経験するという可能性も否定はできません。また、「いずみ野小学校」への道は、通学安全上の課題もあるようです。以上の点から、飯田北小といずみ野小への就学希望はそれほど高くないと見込んでいます。

【意見】

設置場所が下瀬谷小学校となることは適切だと思っております。但し、1番の理由については設置場所を下瀬谷小学校とした場合でも、特調区域については、下瀬谷小学区から南瀬谷小学校へ児童が流出する可能性があるため、一概に正しいとは言えないと思っております。

また、3番の理由にあげられている施設規模の問題については、統合時に教室の増築はしないという前提が問題だと思っております。この前提に基づいて、子ども達に対して多様な教育を行うためには、教室数が多い下瀬谷小学校を設置場所としたと考えざるをえません。しかし、私は教室以外の教育環境を考慮し、日向山小学校を統合校の設置場所としたいと考えていました。しかし、教育委員会からは予算面でのバックアップをいただけなかったのが残念です。最初から、統合校の設置場所の増築については予算を付けないという姿勢は問題だと思っております。

◆委員長

設置場所の決定については、本検討委員会の決定事項の中で、特に重要な項目と考えておりますので、皆様の総意をご確認させていただきます。

正副委員長(案)のとおりとすることでよろしいでしょうか。

(賛成多数)

それでは、統合校の設置場所は「下瀬谷小学校」と決定いたします。

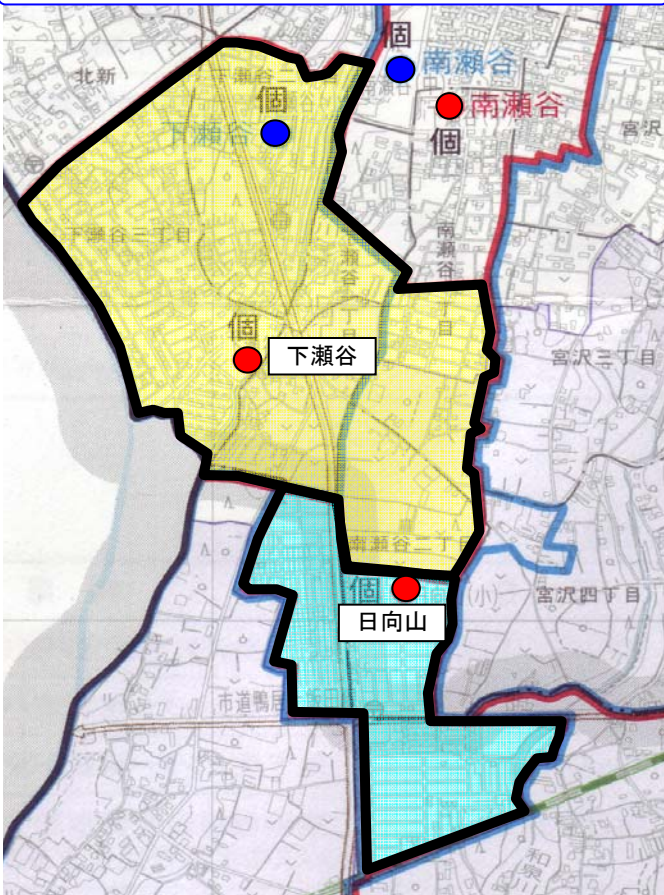


議題(2)通学区域・通学安全について

通学区域

★「統合校の通学区域(案)」について事務局より説明がありました。

下瀬谷小学校及び日向山小学校の通学区域



統合校の通学区域は基本的には両校の通学区域を併せた学区とします。

但し、地域のみなさまの意思を十分確認しながら検討したいと思います。また、現在設定している特別調整通学区域も含めて検討を行います。

学区の調整について補足事項を申し上げます。
下瀬谷小・日向山小の両校は現在児童数が非常に少ない状況ですので、現在の両校の学区からある部分を切り取って他の学校の学区とする必要はないと考えています。

逆に、近隣の瀬谷第二小・原小・南瀬谷小・いずみ野小学校については一定の規模以上の学級数があり、数年後を見ても適正規模で推移する見込みですので、あえて学区の一部を統合校の学区とする必要はないと考えています。

隣接校の飯田北小学校については、現在小規模な学校ですので、あえて統合校の学区に取り込むことはしない方が良く考えています。

統合校の通学区域(案)について委員の皆様にご相談の結果、事務局(案)のとおりとすることで決定しました。

通学安全

★「通学安全」について両校長より現在の主な改善要望箇所について説明がありました。

「通学安全」に関する内容及び資料については、現在通われている児童の安全を考慮し、掲載しないことといたします。

検討委員会で議論した内容の詳細については、直接それぞれの校長にお問い合わせいただけますようお願いいたします。

★「通学安全」に関する進め方等について事務局より説明がありました。

■ 進め方については、絶対的なものではなく、あくまでひな形ということになります。通学安全につきましては、第4回と第5回の委員会で議論していただきます。議論の内容を、意見書として取りまとめ、予定では本年の12月頃を目標として教育委員会に提出していただきます。その後、教育委員会として、各関係部署(土木事務所、警察など)と意見書の内容について調整していきます。

第4回と第5回の委員会の中で、想定通学路を考えて頂くこととなりますが、必ずしもこの検討委員会の中で通学路を確定する訳ではありません。あくまで、想定通学路を設定した上で通学安全上の課題を抽出していただくのが目的です。

■ 通学路については、今後、両校が協議の上、最終的に決定します。併せて関係部署と連携しながら22年の4月に向けて通学安全対策を行っていきます。以上が全体の流れとなっています。

「通学安全」に関するご意見

【意見】

安全な通学路の確保が最優先だとは理解していますが、学区が広がることで子ども達が遊ぶ範囲が非常に広がります。ご指摘のあった、川沿いの道等も利用するようになると思いますので、通学路だけではなく、子ども達が通る道についてもきちんと整備して欲しいと思います。

【意見】

相模原市は、何か事件等があった場合に地域にすぐに放送が流れるようになっています。先日コンビニ強盗があった際も、すぐに放送が流れて警戒態勢をとることができました。この地域は区をまたがっているのが難しい面もあるかもしれませんが、情報がすぐ伝わる体制をとってもらえると親としては安心です。

◆委員長

通学安全につきましては、次回の検討委員会においてさらに議論を深めていくこととします。また、次回までに各所属団体でいただいたご意見がありましたら、お持ちいただきますようお願いいたします。

第3回検討委員会以降にお寄せいただきましたご意見・ご要望について

【Eメールによるご質問】

2009年4月より、日向山地区に転入するので、この統廃合案が非常に心配。少子高齢化が進み、日向山の小学校が無くなると、更なる少子高齢化、孤立化が進む引き金になりかねない。

転入で顔見知りもない中、新一年生がたった一人で登下校しなくてはならないのか？日向山小が新設される前に下瀬谷小に通学していた頃は、子供の足で30分かかったそうだが、登下校の安全性に対する不安がある。

今後、統廃合に関する情報を入手するにはどのようにしたら良いか。

【回答】

横浜市では、著しく進んでいる少子化に伴い、平成16年度より市内小中学校の児童生徒数の適正化を図るため、小規模校同士が近接している地域での再編統合を進めています。

今後、検討委員会で通学安全・新校名・統合校の特色づくり等の議論を行って行く予定です。

各回の検討委員会の内容については、本市教育委員会のホームページにおいて検討委員会ニュースを掲載しています。

【Eメールによるご意見】

統合時の必要普通教室が13教室とのことだが、日向山小には11教室しかない。しかも、既存の施設を活用し、教室は増やさないとすると、必然的に下瀬谷小学校が残ると決まっているようだ。

検討委員会で決めるということならば、どちらの学校が残っても対応が出来るとしないと日向山地域の住民としては納得できない。

ひなた山第2自治会には、一部飯田北小学校の通学区域がある。この機会に住民の意見を聞きながら、現行のままでもいいのか、統合校がいいのか検討して欲しい。

【次回「第5回」再編検討委員会の日程】

★平成20年10月1日(水) 19時から 日向山小学校「市民図書室」



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます

・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

・「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/kadaikibo/index4.html>



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。

FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

* 検討委員会事務局 *

横浜市教育委員会事務局学校計画課

FAX : 045-651-1417 / Eメール : ky-seya@city.yokohama.jp / TEL : 045-671-3253

